

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
CA0008	コンピュータ基礎演習A	阿久津 毅	前期	必修	演習	1	○	1

【授業のねらい及び身につく能力】

① ICT機器を利用して学校においては学習を、社会においては業務をおこなうことは現代社会において必須である。本授業では、ICT機器の基本的な操作方法・アプリケーションの使用法を学ぶとともに、マナーを習得することを図る。主にメールにおける文書作成法・マナー・メーカーの使い方、さらにインターネット社会に必要なセキュリティに関する知識を深め、安全に個人・組織の活動を安全に行う実践力を養う。またワードによる文書作成、特殊印刷、セキュリティに配慮した文書の保存方法などを中心に体験してもらうことによって、自ら応用していく力を身に着ける。

【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】

学修成果評価			成績評価		
評価指標(規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価	
				評価	評価観点
社会人基礎スキル	社会人のマナーやルールを理解してICT利用におけるメールの利用を行うことができる。	作品	15	5	必要最小限のマナーを理解したうえで、的確な情報を見やすく伝えるメールを出せる。
				4	必要最小限のマナーを理解したうえで、的確に情報を伝えるメールを出せる。
				3	必要最小限のマナーを理解したうえで、メールの利用ができる。
				2	メールを利用することができる。
				1	メールを利用することができない。
実践力	インターネットセキュリティに関する知識を身に着ける。	作品	40	5	授業で行われる小テストで90%以上をクリア。
				4	授業で行われる小テストを80%以上のクリア。
				3	授業で行われる小テストを70%以上のクリア。
				2	授業で行われる小テストを60%以上のクリア。
				1	授業で行われる小テストを59%以下のクリア。
向上心・責任感	ICT機器を利用したドキュメントを作成できる。	作品	45	5	授業で出される課題の90%以上の提出である。
				4	授業で出される課題の80%以上の提出である。
				3	授業で出される課題の70%以上の提出である。
				2	授業で出される課題の60%以上の提出である。
				1	授業で出される課題の59%以下の提出である。

【教科書・参考書】

教科書： 利用せず
参考書： PC室のLANやインターネットを利用して練習問題などを配布。授業内の実演の撮影は許可する。

【その他】

課題や制作物等のフィードバックとして、課題・制作物の提出の次の授業の時に模範解答実演などを行う。
中学校教諭2種免許状(家庭)の選択必修科目

【授業の内容・スケジュール】

【準備学習の内容】

授業内容	準備学習	目安時間(時間)
1 オリエンテーション 情報機器の扱い方 課題あり 「コンピュータと社会～第4次産業革命(Society 5.0、データ駆動型社会、AI、IoT)～」	事前学習： 高等学校の「情報」の教科書を読み返しておく 事後学習： 第1回の演習内容の復習	1時間
2 メーカーの利用方法 課題あり	事前学習： 第1回の演習内容の復習 事後学習： 第2回の演習内容の復習	1時間
3 メール文書の作成法 課題あり	事前学習： 第2回の演習内容の復習 事後学習： 第3回の演習内容の復習	1時間
4 セキュリティ(組織編) 小テストあり	事前学習： 第3回の演習内容の復習 事後学習： 第4回の演習内容の復習	1時間
5 セキュリティ(個人編) 小テストあり	事前学習： 第4回の演習内容の復習 事後学習： 第5回の演習内容の復習	1時間
6 コンピュータセキュリティ(スマートホン) 課題あり	事前学習： 第5回の演習内容の復習 事後学習： 第6回の演習内容の復習	1時間
7 著作権とSNS 課題あり	事前学習： 第5,6回の演習内容の復習 事後学習： 第7回の演習内容の復習	1時間
8 コンピュータの基礎 課題あり	事前学習： 第5,6,7回の演習内容の復習 事後学習： 第8回の演習内容の復習	1時間
9 ワードビジネス文書 課題あり	事前学習： 第8回の演習課題の復習 事後学習： 第9回の内容を確認する	1時間
10 ワード:アンケート文書 課題あり	事前学習： 第8,9回までの内容を確認する 事後学習： 第10回の内容を確認する	1時間
11 ワード:スタイルを利用した文書① 課題あり	事前学習： 第8,9,10回までの内容を確認する 事後学習： 第11回の演習内容の復習	1時間
12 ワード:スタイルを利用した文書② 課題あり	事前学習： 第11回の演習内容の復習 事後学習： 第12回の演習内容の復習	1時間
13 ワード:差し込みなど特殊印刷① 課題あり	事前学習： 第11,12回の演習内容の復習 事後学習： 第11,12,13回の演習内容の復習	1時間
14 ワード:差し込みなど特殊印刷② 課題あり	事前学習： 第1～13回の演習内容の復習 事後学習： 第14回の演習内容の復習	1時間
15 まとめ 提出あり	事前学習： 第1～14回の演習内容の復習 事後学習： 授業内全課題の確認	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CA0009	コンピュータ基礎演習B	阿久津 毅	後期	必修	演習	1	○	1

【授業のねらい及び身につく能力】

① I T機器を利用して学校においては学習を、社会においては業務をおこなうことは現代社会において必須である。本授業では、I T機器の基本的な操作方法・アプリケーションの使用法を学ぶとともに、社会人として必要なスキルを習得することを図る。また、エクセルの一般的な四則演算や関数を利用してd代表値の計算、偏差などのデータ処理を行い、度数分布表作成し、ヒストグラムなどのグラフ化するなどアンケート調査の報告を例題にビジュアル的な要素を含めてドキュメントを作成する能力を養う。

【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】

学修成果評価			成績評価		
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	⑦ ルーブリック評価	
				評価	評価観点
社会人基礎スキル	社会人のマナーやルールを理解してI C T利用におけるメールの利用を行うことができる。	作品	15	5	必要最小限のマナーを理解したうえで、的確な情報を見やすく伝えるドキュメントを作成できる。
				4	必要最小限のマナーを理解したうえで、的確に情報を伝えるドキュメントを作成することができる。
				3	必要最小限のマナーを理解したうえで、ドキュメントを作成することができる。
				2	ドキュメントを作成することができる。
				1	ドキュメントを作成することができない。
実践力	アプリの機能を利用して、データの処理やグラフを作成することができる。	確認テスト	40	5	ドキュメント内の課題を90%以上のクリア。
				4	ドキュメント内の課題を80%以上のクリア。
				3	ドキュメント内の課題を70%以上のクリア。
				2	ドキュメント内の課題を60%以上のクリア。
				1	ドキュメント内の課題を59%以下のクリア。
向上心・責任感	I C T機器を使ったドキュメントを適切な技術を用いて作成することができる。	作品	45	5	授業で出される課題の90%以上の提出である。
				4	授業で出される課題の80%以上の提出である。
				3	授業で出される課題の70%以上の提出である。
				2	授業で出される課題の60%以上の提出である。
				1	授業で出される課題の59%以下の提出である。

【教科書・参考書】

教科書： 利用せず
参考書： P C室のL A Nなどを利用して練習問題などを配布。授業内の実演は撮影は許可する。

【その他】

課題や制作物等のフィードバックとして、課題・制作物の提出の次の授業の時に模範解答実演などを行う。

中学校教諭2種免許状(家庭)の選択必修科目

【授業の内容・スケジュール】		【準備学習の内容】		目安時間(時間)
1	エクセルの基本③ 課題あり	事前学習： 高等学校の「情報」の教科書を読み返しておく	事後学習： 第1回の演習内容の復習	1時間
2	エクセルの基本の書式 課題あり	事前学習： 第1回の演習内容の復習	事後学習： 第2回の演習内容の復習	1時間
3	エクセルの四則演算 課題あり	事前学習： 第2回の演習内容の復習	事後学習： 第3回の演習内容の復習	1時間
4	エクセルの関数利用 LEVEL1 課題あり	事前学習： 第3回の演習内容の復習	事後学習： 第4回の演習内容の復習	1時間
5	エクセルの関数利用 LEVEL2 範囲指定 課題あり	事前学習： 第4回の演習内容の復習	事後学習： 第5回の演習内容の復習	1時間
6	エクセルの関数利用 LEVEL4 条件付き 課題あり	事前学習： 第5回の演習内容の復習	事後学習： 第6回の演習内容の復習	1時間
7	エクセルの関数利用 LEVEL5 複数条件付き 課題あり	事前学習： 第4, 5, 6回の演習内容の復習	事後学習： 第7回の演習内容の復習	1時間
8	エクセル 条件付き書式 課題あり	事前学習： 前回までの演習内容の復習	事後学習： 第8回の演習内容の復習	1時間
9	エクセル 大量データの扱い ① 課題あり	事前学習： 第8回の演習課題の復習	事後学習： 第9回の内容を確認する	1時間
10	エクセル 大量データの扱い ② 課題あり	事前学習： 第9回までの内容を確認する	事後学習： 第10回の内容を確認する	1時間
11	エクセル グラフ作成 ① 課題あり	事前学習： 第9, 10回までの内容を確認する	事後学習： 第11回の演習内容の復習	1時間
12	エクセル グラフ作成 ② 課題あり	事前学習： 第11回の演習内容の復習	事後学習： 第12回の演習内容の復習	1時間
13	エクセル グラフ作成 ③ 課題あり	事前学習： 第11, 12回の演習内容の復習	事後学習： 第11, 12, 13回の演習内容の復習	1時間
14	エクセルのセキュリティ 課題あり	事前学習： 第1~13回の演習内容の復習	事後学習： 第14回の演習内容の復習	1時間
15	まとめ 課題あり	事前学習： 第1~14回の演習内容の復習	事後学習： 授業内全課題の確認	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CA0028	情報処理 (演習を含む)	阿久津 毅	後期	選択	講義	2	○	2

【授業のねらい及び身につく能力】

① 現代社会においては、フィンテックに代表されるようにICT技術が各分野で活用されている。本授業では、人工知能やロボティクスなど各分野で利用されている事例を紹介しながら授業を進めていく。またニュースなどで取り上げられている事例も適宜取り上げていく。そのうえで、事例の理解に必要なアルゴリズムなどプログラムに関する基礎知識、セキュリティに関する最新情報を学び、今後の社会生活に必要な社会人としての思考力を養っていくことを目的とする。また、授業にはICT機器を利用した参加型授業を行うことがある。

【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】

学修成果評価			成績評価		
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価	
				評価	評価観点
社会人基礎スキル	ICT社会に必要な基礎知識を身につけ自分の意見を論じることが出来る。	レポート	40	5	自分の意見を論理的に正しい文章表現にて表現することが出来る。
				4	自分の意見を論理的または正しい文章表現にて表現することが出来る。
				3	自分の意見を表現することが出来る。
				2	自分の意見を表現することが出来ない。
				1	自分の意見をもたない。
向上心・責任感	メディアを活用し、最新の情報を取得し、授業内容を深めることが出来る。	受講態度	60	5	授業の内容を理解し、新たな情報を加え情報を持つことが出来る。
				4	授業の内容を理解し、情報を持つことが出来る。
				3	授業以外の情報を自ら積極的に持つことが出来る。
				2	授業以外の情報を持つことが出来る。
				1	情報をもたない。

【教科書・参考書】

教科書： 利用せず
参考書： 授業内のパワポ資料などを自由にダウンロード可

【その他】

授業内容について、office365を利用したFormsなどによる意見・感想を出してもらい、そのデータをもとに、次回授業においてフィードバックを行う。

【授業の内容・スケジュール】		【準備学習の内容】		目安時間(時間)
1	インターネット通信について	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
2	IOT (1)	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
3	IOT (2)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
4	AIでなくなる仕事、残る仕事 (1)	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
5	AIでなくなる仕事、残る仕事 (2)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
6	AIでなくなる仕事、残る仕事 (3)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
7	AIでなくなる仕事、残る仕事 (4)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
8	AIでなくなる仕事、残る仕事 (5)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
9	ロボットとは (1)	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
10	ロボットとは (2)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
11	ICTを支えるプログラミング思考 アルゴリズムの基礎 (1)	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
12	ICTを支えるプログラミング思考 アルゴリズムの基礎 (2)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
13	ICTを支えるプログラミング思考 アルゴリズムの基礎 (3)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
14	コンピュータセキュリティ	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
15	まとめ PCを利用したレポート作成	事前学習： 1-4回までの授業の復習 事後学習： まとめの内容を確認する		4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0043	ビジネス実務	小川 弓美子	前期	選択	講義	2	○	1
〔授業のねらい及び身につく能力〕 ① ビジネスの場面を想定して、実務において必要なスタンス・知識・技能とは何か？を考え代々のビジネスに欠かさない、PC・メール（ビジネス文書）も含めて、即戦力人材としての人材になることを目指します。								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	ビジネスマナーやスキルの概念を理解し社会人としての自覚ある行動ができる	確認テスト	50	5	ビジネス・社会人基礎スキルを即戦力として活躍できるレベルまで装着できた			
				4	ビジネス・社会人基礎スキルを理解し実践のイメージを持っている			
				3	ビジネス・社会人基礎スキルを理解している			
				2	ビジネス・社会人基礎スキルの理解に補填が必要			
				1	ビジネス・社会人基礎スキルの理解ができていない			
専門的知識・技術	現代ビジネスに必要な不可欠なPCスキルや文書の作成ができる	確認テスト	50	5	3回のテストにおいて、8割以上のスコアを獲得している			
				4	3回のテストにおいて、平均点（6.5割想定）のスコアを獲得している			
				3	3回のテストにおいて、5割以上のスコアを獲得している			
				2	3回のテストにおいて、3割以上のスコアを獲得している			
				1	3回のテストにおいて、3割未満のスコアを獲得している			
〔教科書・参考書〕 教科書： 印刷物を用いる 参考書： 授業の中で必要に応じて紹介をする								
〔その他〕 確認テストのフィードバックを行う。								
〔授業の内容・スケジュール〕				〔準備学習の内容〕				目安時間(時間)
1	オリエンテーション(シラバス)確認 ビジネス実務の定義	事前学習： ⑤ 事後学習： ④	ビジネスにおける必要なスキル・スタンスを考える 授業の目的を理解する	2時間				
2	ビジネスマナー__スタンス 職場コミュニケーション	事前学習： 事後学習：	職場と通常のコミュニケーションにおける違いを考える 職場におけるコミュニケーションの特徴を理解する	4時間				
3	ビジネスマナー__実践編 報・連・相	事前学習： 事後学習：	報・連・相とは何かを考える 報・連・相の実践に関してイメージをつける	4時間				
4	電話・対面での顧客接点 ビジネスにおける顧客対応とは	事前学習： 事後学習：	ビジネスにおける顧客対応とリスクに関して考える ビジネスにおける顧客対応とリスクに関して自分なりの解を持つ	4時間				
5	クレームの発生と対処 クレームにおける顧客対応とは	事前学習： 事後学習：	クレームが起こる背景と対処法に関して考える クレームが起こる背景と対処法に関して自分なりの解を持つ	4時間				
6	確認テスト①	事前学習： 事後学習：	今までの授業内容の振り返り 確認テストでの不明点の消化	4時間				
7	職場におけるIT 現代の職場のインフラ	事前学習： 事後学習：	現代の職場におけるインフラは何かあるかを考える 現代の職場におけるインフラをどのように活用していくことかイメージする	4時間				
8	情報コンプライアンス 職場における情報の基礎的コンプライアンス	事前学習： 事後学習：	情報コンプライアンスにおいて重要な観点を考える やっつけいいこと、いけないことの理解ができる	4時間				
9	職場倫理__ハラスメント セクハラ、モラハラ、アルハラなど	事前学習： 事後学習：	職場の中でハラスメントとして認識されることを考える やっつけいいこと、いけないことの理解ができる	4時間				
10	確認テスト②	事前学習： 事後学習：	今までの授業内容の振り返り 確認テストでの不明点の消化	4時間				
11	PC基礎 エクセル(ビジネス実務分野)	事前学習： 事後学習：	ビジネス実務分野のエクセルの使用に関して予習する ビジネス実務分野エクセルの操作を理解する	4時間				
12	PC基礎 ワード(ビジネス実務分野)	事前学習： 事後学習：	ビジネス実務分野のワードの使用に関して予習する ビジネス実務分野のワードの操作を理解する	4時間				
13	PC基礎 パワーポイント(ビジネス実務分野)	事前学習： 事後学習：	ビジネス実務分野のパワーポイントの使用に関して予習する ビジネス実務分野のパワーポイントの操作を理解する	4時間				
14	PC基礎 メール(ビジネス実務分野)	事前学習： 事後学習：	ビジネス実務分野のメールの使用に関して予習する ビジネス実務分野のメールの操作を理解する	4時間				
15	確認テスト③	事前学習： 事後学習：	今までの授業内容の振り返り 確認テストでの不明点の消化	5時間				

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
CB0003	住生活論	川田 江美	後期	必修	講義	2	○	1

〔授業のねらい及び身につく能力〕

① 本講座では、住まいの本来の役割を確認するとともに、現在の住生活。住居観をその中心となる人の視点で「人の生活の拠点となる住居」、「住居の中で繰り広げられる生活」等考察していく。特に日本人の暮らしを中心に真の豊かさを追求し、併せてグローバルな視点でも日本の住生活を概観する。最終的には自分が築く家庭を想定し、その上での住まいの生活を想像できる能力を養う。本授業により、住生活にかかわる専門的な基礎知識が身につく。

〔学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法〕

学修成果評価			成績評価		
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価	
				評価	評価観点
専門的知識・技術	住まいの歴史を正しく理解し、住まいの中の生活を正しく理解し、実生活に置き換え考えることができる	確認テスト	50	5	確認テストにおいて、80%以上出来ている
				4	確認テストにおいて、70%以上出来ている
				3	確認テストにおいて60%以上できている
				2	確認テストにおいて50%できている
				1	確認テストにおいて49%以下のできである
思考力	現状の住まいと住まいの生活を分析すること 未来を想定し、住まいに対する発展的志向を持つ	レポート	50	5	各種課題に正確に取り組み、実生活に応用し創意工夫する姿勢が読み取れるレポートである
				4	各種課題に正確に取り組み、実生活に応用する姿勢が読み取れるレポートである
				3	各種課題に正確に取り組んでいる
				2	各種課題に取り組んでいるが理解度が低い
				1	各種課題への取り組みが低い

〔教科書・参考書〕

教科書： 使用せず
参考書： 適宜指示する

〔その他〕

課題等についてはフィードバックを行う

〔授業の内容・スケジュール〕		〔準備学習の内容〕		目安時間(時間)
1	人間にとっての住まいの意義と住居観「あなたにとって家とは」レポート1	事前学習： シラバスの狙いを確認する 事後学習： 自分の住まいに対する考えを。レポートにまとめる		4時間
2	世界・日本の住居と住生活及び歴史「住居の歴史」確認テスト①	事前学習： 幼いころと現在の住まい、住まい方を比較する 事後学習： 居住地域の各種住まいを観察する		4時間
3	現在の住生活 住宅政策を中心に	事前学習： 住まいに対するニュースに目を向ける 事後学習： 現在の住宅事情をもとに、現住まいの問題点を考察する		4時間
4	家族の生活と住生活 ①共働き世帯の住生活様式(1)	事前学習： 自身が育った家庭の住生活を概観する 事後学習： 自ら築く家庭を創造し将来の住生活をシミュレーションする		4時間
5	家族の生活と住生活 ①共働き世帯の住生活様式(2)「未来型住宅の提案」レポート2	事前学習： 現在の住宅設備・家事労働の社会化について調べる 事後学習： 近未来の住宅設備を提案する		4時間
6	家族の生活と住生活 ②子供の自立と住生活	事前学習： 子供時代の家の中でのエピソードを聞き取り調査する 事後学習： エピソードに対する、成長への影響を考察する		4時間
7	家族の生活と住生活 ②子供の自立と住生活(応用)	事前学習： 住まいが与える子供への影響を調べる 事後学習： 調査事例の成長への影響を考察する		4時間
8	家族の生活と住生活 自分の生活を振り返ろう(1)	事前学習： 自分の住まいの間取り図を確認する 事後学習： 住まいの中で行われている行動の動線を確認し考察する		4時間
9	家族の生活と住生活 自分の生活を振り返ろう(2)「自分の住生活を振り返ろう」レポート3	事前学習： 自分の住まいの図面を完成させ、齟齬がないか確認する 事後学習： 住まいの中での家族員の役割を確認し自分の存在意義を考える		4時間
10	家族の生活と住生活 ③高齢者の自立と共生の住まい	事前学習： 高齢者の生活、行動を観察する 事後学習： 自分自身の高齢期を想定し、住宅内で行動をする		4時間
11	自ら築く住まいと住生活 ①「家を建てるとは」VTR視聴レポート4	事前学習： 自分にとって家を建てる、持つ意味を考える 事後学習： 授業前後での自分の考えの違いを考察する		4時間
12	自ら築く住まいと住生活 ② 応用	事前学習： プランニング予定の地域環境を調べる 事後学習： プランニング住まいでの快適な住生活が送れるか検証する		4時間
13	これからの住生活 ①生活の変化②高齢社会と住まい	事前学習： 授業ノート整理(質問事項の抽出) 事後学習： 授業ノート整理(復習)		4時間
14	これからの住生活 ③高度情報化、国際化と住まい	事前学習： 授業ノート整理(質問事項の抽出) 事後学習： 授業ノート整理(復習)		4時間
15	確認テスト・まとめ	事前学習： 確認テストの勉強をする 事後学習： 学んだ知識の活用を実生活に取り入れる		4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0017	ファッションビジネス (演習を含む)	川田 江美	前期	選択	講義・演習	2	○	3

【授業のねらい及び身につく能力】

① 本講座では目まぐるしく変化するファッション業界の実情をリアルタイムな情報として受け止め、情報整理を行う。特に昨今ではマスメディアだけでなくSNSなど様々な情報発信手段にも目を向ける。将来を見据え企業の特徴的な戦略やライターの比較、新ブランドの設立状況や売れ筋商品の動向など様々な角度から企業分析を行う。加えて企業やブランドのコレクションにも目を向け、本学ショー演出を支援する。

【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】

学修成果評価		成績評価		
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	⑦ ルーブリック評価
				評価
専門的知識・ 技術	ファッションビジネスの基本的仕組みを理解し、説明することができること	確認テスト	40	5 ファッションビジネスの基本的な仕組みを理解、論理的に説明でき、業界の将来性を考えられる 4 ファッションビジネスの基本的な仕組みを理解でき論理的に説明できる 3 ファッションビジネスの仕組みをおおむね理解できている 2 ファッションビジネスの仕組みについて理解が乏しい 1 ファッションビジネスの仕組みが正しく理解できていない
思考力	自身の長所短所を考慮したコーディネート提案ができ、コーディネート提案後の検証結果を分析することができる	レポート	25	5 自己体型を把握し、体型を生かす着こなし提案ができ論理的に説明できる 4 自己体型を把握し、体型を生かす着こなし提案ができ説明できる 3 自己体型を把握し、体型を生かす着こなし提案ができる 2 自己体型把握はできるが着こなしに生かせていない 1 自己体型把握ができていない
実践力	ロールプレイの実践の際、現実を想定して取り組むことができる	受講態度	20	5 積極的にロールプレイに参加し、自己スキル向上のため様々な場面を想定し取り組むことができる 4 積極的にロールプレイに参加し、自己スキル向上への意欲がみられる 3 積極的にロールプレイに参加している 2 ロールプレイへの参加が消極的である 1 ロールプレイへの参加度が極めて低い
向上心・責任 感	授業に意欲的に取り組んでいるか	受講態度	5	5 遅刻欠席なく授業に参加し、学ぶ姿勢ができています 4 遅刻欠席なく授業に参加している 3 遅刻欠席が若干みられるが、授業には参加している 2 遅刻欠席が多くみられるが、授業には参加している 1 遅刻欠席が多くみられ授業への参加度が極めて低い

【教科書・参考書】

教科書： 「新版 ファッションビジネス論」 (日本衣料管理協会編)
参考書： 適宜指示する

【その他】

レポートはフィードバックを行う
日本衣料管理士2級の必修科目

【授業の内容・スケジュール】		【準備学習の内容】		目安時間(時間)
1	ファッションの歴史からみるファッションビジネス	事前学習： 自分及び家族員の写真からファッションの歴史を概観する 事後学習： 授業にて興味を持ったデザイナーについて詳しく調べる		1時間
2	繊維素材産業・テキスタイル産業・アパレル産業・アパレル小売業のしくみ	事前学習： 該当のページの教科書を読み理解する 事後学習： 各産業を理解し、自分が就職で目指すべき産業について深く掘り下げる		1時間
3	ファッションビジネス展望 グローバルビジネスと新ビジネスモデル	事前学習： 日本のファッション企業の世界進出状況を調べる 事後学習： 海外アパレル企業の日本進出状況を調べる		1時間
4	確認テスト1回目 ファッション販売とは	事前学習： テスト勉強をする 事後学習： テストの自己採点をし、理解を深める		1時間
5	業態別ファッション小売企業の組織体制	事前学習： 就職の窓口である人事部について就職受験企業について調べる 事後学習： 自分が目指す就職先の組織体制を調べる		1時間
6	小売企業の職務と種類	事前学習： ファッション業界の仕事について調べる 事後学習： 自分を見つめ、適正のある職務について掘り下げる		1時間
7	小売企業における販売員の仕事	事前学習： 自分が受けた接客で良かった販売員と悪かった点を列記する 事後学習： 販売員の対応を観察しに向く		1時間
8	販売員に必要な接客技術 (ロールプレイ)	事前学習： 接客販売に関する基礎的な用語の習得を予習する 事後学習： 学んだ技術習得を定着させる実践練習を繰り返す		1時間
9	販売員に必要な接客技術 (レポート1：コーディネート提案力) 検証	事前学習： 販売員に必要な接客技術に関するレポート1「提案力」検証 事後学習： コーディネート提案の裏づけを科学的な視点でまとめる		1時間
10	販売員に必要な接客技術 海外編	事前学習： 海外の接客事情を調べる 事後学習： 英語の接客用語を修得する		1時間
11	ファッション小売業の経営戦略	事前学習： 最近のファッション業界の動きをWWDから情報収集する 事後学習： 特異な経営戦略を行っている企業を調べ、その特徴をまとめる		1時間
12	小売業とマーケティング	事前学習： 最近のファッション業界の動きをWWDから情報収集する 事後学習： 就職活動を視野に入れ、受験企業の企業研究を実施する		1時間
13	小売業のプロモーション活動 インストアアプローチとプレストアプローチ	事前学習： ショー演出案を振り返り、小売業界で活用する方策を考える 事後学習： 実際の店舗における売り上げ増に繋がるショーを企画する		1時間
14	店舗運営に関する計数	事前学習： 事前に配布する売り上げ等の計数に関する予習プリントをやる 事後学習： 売り上げ計数を上げるための方策を思案する		1時間
15	確認テスト2回目 ファッション小売業の課題と展望	事前学習： 確認テスト勉強をする 事後学習： 自分の目指すべき仕事、就職先等の課題を考察する		1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
CB0002	食生活論（食品学・栄養学を含む）	⑥ 前田 文子	前期	必修	② 講義	⑤ 2	② 〇	1

【授業のねらい及び身につく能力】

① 食生活論は人の行動から食をとらえる学問である。ここでは、豊かな食生活をキーワードに、食生活を多角的に捉え、食と環境、食文化、食と健康などについて理解を深めてゆく。食事はただ空腹を満たすためのものではなく、コミュニケーションの場であり、食文化の継承の場でもある。次世代に豊かな食生活を継承してゆくために今何をすべきか、また、グローバル社会の中で私たちが果たす役割は何か、今できることを考えてゆく。和食に込められた日本人の宗教観やもてなしの心、自然への慈しみなどを理解しつつ、現代の生活の中ではどう食事に向き合うか、考え行動できる力を身につける。

【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】

学修成果評価

評価指標(規準)	達成目標	評価手段	評価比率	成績評価	
				評価	評価観点
専門的知識・技術	授業で学んだ内容が理解できる。	定期試験	60	5	定期試験の得点が85%以上である
				4	定期試験の得点が70%以上である
				3	定期試験の得点が55%以上である
				2	定期試験の得点が40%以上である
				1	定期試験の得点が40%未満である
思考力	レポート課題「豊かな食生活とは」「食文化の継承について」に関して、授業で学んだことを踏まえて自分の考えを的確な文章で表現することができる。	レポート	20	5	テーマを正しくとらえ適切なキーワードを含み、持論が明確にかけられている
				4	持論が明確であり、言葉遣いや長さが適切である
				3	テーマに沿って適切な言葉で書けている
				2	自分の意見が明確に書けない
				1	テーマを正しく捉えておらず、内容が不適切である
思考力	事前学習、事後学習のためのワークシートに調査結果や考察を適切に書くことができる	受講態度	20	5	ワークシートに従って調査し、考察した内容が特に優れている
				4	ワークシートに従って調査し、考察した内容が優れている
				3	ワークシートの内容がやや不足している
				2	ワークシートの課題が理解できず、適切に書けていない
				1	ワークシートへの記入がない

【教科書・参考書】

教科書： 使用しない
参考書： フードコーディネーター教本2020

【その他】

レポートのフィードバックを行う
フードコーディネーター3級の必修科目

③ 授業の内容・スケジュール		④ 準備学習の内容		目安時間(時間)
1	食生活とは 食生活論の概念と食事の機能	事前学習： シラバスを読んでくる 事後学習： 食の機能について復習する		2時間
2	食生活の豊かさとは ディスカッション「豊かさとは」	事前学習： 豊かな生活とは何か考えてくる 事後学習： レポート「豊かな食生活とは」		4時間
3	食生活と健康1 栄養素について	事前学習： 食生活の中で気を付けていることをまとめてくる 事後学習： 栄養素の働きについて復習する		2時間
4	食生活と栄養2 健康と食事の関わり	事前学習： 生活習慣病についてのニュースや話題をひとつ探す 事後学習： 食生活日誌をつける（5日間）		7時間
5	食生活と環境 環境問題とバーチャルウォーター	事前学習： 食生活日誌をまとめておく 事後学習： 授業の内容を復習する（ワークシート）		4時間
6	現代食生活の課題1 食の外部化、欧米化、こ食	事前学習： 食生活に関するニュースや話題を集める 事後学習： 授業の内容を復習する		4時間
7	現代食生活の課題2 グローバリゼーションと食料自給・フードロス	事前学習： 食料自給率を調べてくる 事後学習： フードロスを削減するための方法を考える（ワークシート）		4時間
8	現代食生活の課題3 食の安全性	事前学習： 食品の安全についてのニュース、話題を調べる 事後学習： 授業の内容を復習する		4時間
9	日本の食文化1 食文化を形成する要因と和食の定義	事前学習： 和食とは何か考えてくる 事後学習： 授業の内容を復習する		4時間
10	日本の食文化2 日本人の宗教観ともてなしの心	事前学習： 和食が世界遺産になった理由について調べる 事後学習： レポート「食文化の継承についての考察」		4時間
11	世界の食文化1 食の起源とコロンブスの交換	事前学習： 世界4大文明について、場所と起源を調べる 事後学習： 授業の内容を復習する		4時間
12	世界の食文化2 中国料理と西洋料理の特性	事前学習： 世界3大料理について調べる 事後学習： 授業の内容を復習する		3時間
13	日本の食文化3 和菓子の歴史と魅力	事前学習： 和菓子の種類を調べる 事後学習： 授業の内容を復習する		3時間
14	グローバル社会の中の日本1 食料分配の不等・飢餓と貧困	事前学習： ハンガーマップを見てくる 事後学習： 授業の内容を復習する（ワークシート）		3時間
15	グローバル社会の中の日本2 持続可能な社会を目指して	事前学習： SDGsについて調べる 事後学習： 定期試験に向けて復習する		8時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DA0008	コンピュータ基礎演習A	阿久津 毅	前期	必修	演習	1	○	1

【授業のねらい及び身につく能力】

① ICT機器を利用して学校においては学習を、社会においては業務をおこなうことは現代社会において必須である。本授業では、ICT機器の基本的な操作方法・アプリケーションの使用法を学ぶとともに、マナーを習得することを図る。主にメールにおける文書作成法・マナー・メーカーの使い方、さらにインターネット社会に必要なセキュリティに関する知識を深め、安全に個人・組織の活動を安全に行う実践力を養う。またワードによる文書作成、特殊印刷、セキュリティに配慮した文書の保存方法などを中心に体験してもらうことによって、自ら応用していく力を身に着ける。

【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】

学修成果評価			成績評価		
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	⑦	
				ルーブリック評価 評価観点	
社会人基礎スキル	社会人のマナーやルールを理解してICT利用におけるメールの利用を行うことができる。	作品	15	5	必要最小限のマナーを理解したうえで、的確な情報を見やすく伝えるメールを出せる。
				4	必要最小限のマナーを理解したうえで、的確に情報を伝えるメールを出せる。
				3	必要最小限のマナーを理解したうえで、メールの利用ができる。
				2	メールを利用することができる。
				1	メールを利用することができない。
実践力	インターネットセキュリティに関する知識を身に着ける。	作品	40	5	授業で行われる小テストで90%以上をクリア。
				4	授業で行われる小テストを80%以上のクリア。
				3	授業で行われる小テストを70%以上のクリア。
				2	授業で行われる小テストを60%以上のクリア。
				1	授業で行われる小テストを59%以下のクリア。
向上心・責任感	ICT機器を利用したドキュメントを作成できる。	作品	45	5	授業で出される課題の90%以上の提出である。
				4	授業で出される課題の80%以上の提出である。
				3	授業で出される課題の70%以上の提出である。
				2	授業で出される課題の60%以上の提出である。
				1	授業で出される課題の59%以下の提出である。

【教科書・参考書】

教科書： 利用せず
参考書： PC室のLANやインターネットを利用して練習問題などを配布。授業内の実演の撮影は許可する。

【その他】

課題や制作物等のフィードバックとして、課題・制作物の提出の次の授業の時に模範解答実演などを行う。

中学校教諭2種免許状(家庭)の選択必修科目

【授業の内容・スケジュール】		【準備学習の内容】		目安時間(時間)
1	オリエンテーション 情報機器の扱い方 課題あり 「コンピュータと社会～第4次産業革命(Society 5.0、データ駆動型社会、AI。Iot)～」	事前学習： 高等学校の「情報」の教科書を読み返しておく	事後学習： 第1回の演習内容の復習	1時間
2	メーカーの利用方法 課題あり	事前学習： 第1回の演習内容の復習	事後学習： 第2回の演習内容の復習	1時間
3	メール文書の作成法 課題あり	事前学習： 第2回の演習内容の復習	事後学習： 第3回の演習内容の復習	1時間
4	セキュリティ(組織編) 小テストあり	事前学習： 第3回の演習内容の復習	事後学習： 第4回の演習内容の復習	1時間
5	セキュリティ(個人編) 小テストあり	事前学習： 第4回の演習内容の復習	事後学習： 第5回の演習内容の復習	1時間
6	コンピュータセキュリティ(スマートホン) 課題あり	事前学習： 第5回の演習内容の復習	事後学習： 第6回の演習内容の復習	1時間
7	著作権とSNS 課題あり	事前学習： 第5,6回の演習内容の復習	事後学習： 第7回の演習内容の復習	1時間
8	コンピュータの基礎 課題あり	事前学習： 第5,6,7回の演習内容の復習	事後学習： 第8回の演習内容の復習	1時間
9	ワードビジネス文書 課題あり	事前学習： 第8回の演習課題の復習	事後学習： 第9回の内容を確認する	1時間
10	ワード:アンケート文書 課題あり	事前学習： 第8,9回までの内容を確認する	事後学習： 第10回の内容を確認する	1時間
11	ワード:スタイルを利用した文書① 課題あり	事前学習： 第8,9,10回までの内容を確認する	事後学習： 第11回の演習内容の復習	1時間
12	ワード:スタイルを利用した文書② 課題あり	事前学習： 第11回の演習内容の復習	事後学習： 第12回の演習内容の復習	1時間
13	ワード:差し込みなど特殊印刷① 課題あり	事前学習： 第11,12回の演習内容の復習	事後学習： 第11,12,13回の演習内容の復習	1時間
14	ワード:差し込みなど特殊印刷② 課題あり	事前学習： 第1~13回の演習内容の復習	事後学習： 第14回の演習内容の復習	1時間
15	まとめ 提出あり	事前学習： 第1~14回の演習内容の復習	事後学習： 授業内全課題の確認	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DA0009	コンピュータ基礎演習B	阿久津 毅	後期	必修	演習	1	○	1

【授業のねらい及び身につく能力】

① I T機器を利用して学校においては学習を、社会においては業務をおこなうことは現代社会において必須である。本授業では、I T機器の基本的な操作方法・アプリケーションの使用法を学ぶとともに、社会人として必要なスキルを習得することを図る。また、エクセルの一般的な四則演算や関数を利用してd代表値の計算、偏差などのデータ処理を行い、度数分布表作成し、ヒストグラムなどのグラフ化するなどアンケート調査の報告を例題にビジュアル的な要素を含めてドキュメントを作成する能力を養う。

【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】

学修成果評価			成績評価		
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価	
				評価	評価観点
社会人基礎スキル	社会人のマナーやルールを理解してI C T利用におけるメールの利用を行うことができる。	作品	15	5	必要最小限のマナーを理解したうえで、的確な情報を見やすく伝えるドキュメントを作成できる。
				4	必要最小限のマナーを理解したうえで、的確に情報を伝えるドキュメントを作成することができる。
				3	必要最小限のマナーを理解したうえで、ドキュメントを作成することができる。
				2	ドキュメントを作成することができる。
				1	ドキュメントを作成することができない。
実践力	アプリの機能を利用して、データの処理やグラフを作成することができる。	確認テスト	40	5	ドキュメント内の課題を90%以上のクリア。
				4	ドキュメント内の課題を80%以上のクリア。
				3	ドキュメント内の課題を70%以上のクリア。
				2	ドキュメント内の課題を60%以上のクリア。
				1	ドキュメント内の課題を59%以下のクリア。
向上心・責任感	I C T機器を使ったドキュメントを適切な技術を用いて作成することができる。	作品	45	5	授業で出される課題の90%以上の提出である。
				4	授業で出される課題の80%以上の提出である。
				3	授業で出される課題の70%以上の提出である。
				2	授業で出される課題の60%以上の提出である。
				1	授業で出される課題の59%以下の提出である。

【教科書・参考書】

教科書： 利用せず
参考書： P C室のL A Nなどを利用して練習問題などを配布。授業内の実演は撮影は許可する。

【その他】

課題や制作物等のフィードバックとして、課題・制作物の提出の次の授業の時に模範解答実演などを行う。
中学校教諭2種免許状(家庭)の選択必修科目

【授業の内容・スケジュール】		【準備学習の内容】		目安時間(時間)
1	エクセルの基本 ③ ④ 課題あり	事前学習： 高等学校の「情報」の教科書を読み返しておく	事後学習： 第1回の演習内容の復習	1時間
2	エクセルの基本の書式 課題あり	事前学習： 第1回の演習内容の復習	事後学習： 第2回の演習内容の復習	1時間
3	エクセルの四則演算 課題あり	事前学習： 第2回の演習内容の復習	事後学習： 第3回の演習内容の復習	1時間
4	エクセルの関数利用 LEVEL1 課題あり	事前学習： 第3回の演習内容の復習	事後学習： 第4回の演習内容の復習	1時間
5	エクセルの関数利用 LEVEL2 範囲指定 課題あり	事前学習： 第4回の演習内容の復習	事後学習： 第5回の演習内容の復習	1時間
6	エクセルの関数利用 LEVEL4 条件付き 課題あり	事前学習： 第5回の演習内容の復習	事後学習： 第6回の演習内容の復習	1時間
7	エクセルの関数利用 LEVEL5 複数条件付き 課題あり	事前学習： 第4, 5, 6回の演習内容の復習	事後学習： 第7回の演習内容の復習	1時間
8	エクセル 条件付き書式 課題あり	事前学習： 前回までの演習内容の復習	事後学習： 第8回の演習内容の復習	1時間
9	エクセル 大量データの扱い ① 課題あり	事前学習： 第8回の演習課題の復習	事後学習： 第9回の内容を確認する	1時間
10	エクセル 大量データの扱い ② 課題あり	事前学習： 第9回までの内容を確認する	事後学習： 第10回の内容を確認する	1時間
11	エクセル グラフ作成 ① 課題あり	事前学習： 第9, 10回までの内容を確認する	事後学習： 第11回の演習内容の復習	1時間
12	エクセル グラフ作成 ② 課題あり	事前学習： 第11回の演習内容の復習	事後学習： 第12回の演習内容の復習	1時間
13	エクセル グラフ作成 ③ 課題あり	事前学習： 第11, 12回の演習内容の復習	事後学習： 第11, 12, 13回の演習内容の復習	1時間
14	エクセルのセキュリティ 課題あり	事前学習： 第1~13回の演習内容の復習	事後学習： 第14回の演習内容の復習	1時間
15	まとめ 課題あり	事前学習： 第1~14回の演習内容の復習	事後学習： 授業内全課題の確認	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DA0028	情報処理（演習を含む）	阿久津 毅	後期	選択	講義	2	○	2

【授業のねらい及び身につく能力】

① 現代社会においては、フィンテックに代表されるようにICT技術が各分野で活用されている。本授業では、人工知能やロボティクスなど各分野で利用されている事例を紹介しながら授業を進めていく。またニュースなどで取り上げられている事例も適宜取り上げていく。そのうえで、事例の理解に必要なアルゴリズムなどプログラムに関する基礎知識、セキュリティに関する最新情報を学び、今後の社会生活に必要な社会人としての思考力を養っていくことを目的とする。また、授業にはICT機器を利用した参加型授業を行うことがある。

【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】

学修成果評価			成績評価	
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価 評価観点
社会人基礎スキル	ICT社会に必要な基礎知識を身につけ自分の意見を論じることが出来る。	レポート	40	5 自分の意見を論理的に正しい文章表現にて表現することが出来る。 4 自分の意見を論理的または正しい文章表現にて表現することが出来る。 3 自分の意見を表現することが出来る。 2 自分の意見を表現することが出来ない。 1 自分の意見をもたない。
向上心・責任感	メディアを活用し、最新の情報を取得し、授業内容を深めることが出来る。	受講態度	60	5 授業の内容を理解し、新たな情報に加え情報を持つことが出来る。 4 授業の内容を理解し、情報を持つことが出来る。 3 授業以外の情報を自ら積極的に持つことが出来る。 2 授業以外の情報を持つことが出来る。 1 情報をもたない。

【教科書・参考書】

教科書： 利用せず
参考書： 授業内のパワポ資料などを自由にダウンロード可

【その他】

授業内容について、office365を利用したFormsなどによる意見・感想を出してもらい、そのデータをもとに、次回授業においてフィードバックを行う。

【授業の内容・スケジュール】		【準備学習の内容】		目安時間(時間)
1	インターネット通信について	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
2	IOT（1）	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
3	IOT（2）	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
4	AIでなくなる仕事、残る仕事（1）	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
5	AIでなくなる仕事、残る仕事（2）	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
6	AIでなくなる仕事、残る仕事（3）	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
7	AIでなくなる仕事、残る仕事（4）	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
8	AIでなくなる仕事、残る仕事（5）	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
9	ロボットとは（1）	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
10	ロボットとは（2）	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
11	ICTを支えるプログラミング思考 アルゴリズムの基礎（1）	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
12	ICTを支えるプログラミング思考 アルゴリズムの基礎（2）	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
13	ICTを支えるプログラミング思考 アルゴリズムの基礎（3）	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
14	コンピュータセキュリティ	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
15	まとめ PCを利用したレポート作成	事前学習： 14回までの授業の復習 事後学習： まとめの内容を確認する		4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DB0005	生活学	⑥ 小宮 恭子	後期	選択	② 講義	⑤ 2	② 〇	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
① 幼児期から児童期は「人格形成の基礎」と「学びの基礎力」を育成する重要な時期である。発達段階では、子どもたちは生活の中の直接的な人とのかかわり、ものとのかかわりを通して、より抽象的な概念を認識していくので、生活学では子どもの主体的な「気づき」を大切に考える。本授業では、身の回りの自然、社会、人などを対象に学生自身が改めて注意を向け、自らが発見や疑問などの気づきを通して、生活学の体験学習の内容と方法を理解する。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	自己の気づきを的確に表現することができる。	レポート	50	5	自らの気づきを具体例を示してわかりやすく工夫して表現できる。			
				4	自らの気づきを分かりやすく工夫して表現できる。			
				3	自らの気づきを分かりやすく表現できる。			
				2	自らに気づきが聞き取りにくく、間や抑揚に工夫が無い。			
				1	保育の基本や遊びの特徴を理解できていない。			
思考力	身の回りの出来事に疑問をもち、探求できる。	レポート	50	5	社会の幅広い観点から疑問を持ち、根拠を示して探求ができる。			
				4	社会の観点から疑問を持ち、一部根拠を示して探求ができる。			
				3	身の回りの出来事に疑問をもち、探求ができる。			
				2	身の回りの出来事に疑問をもてるが、探求ができない。			
				1	身の回りの出来事に疑問をもったり探求することができない。			
【教科書・参考書】								
教科書： 中川秋美他『保育を支える生活の基礎—豊かな環境のつくり手として—』（萌文書林）								
参考書： 文部科学省「小学校学習指導要領解説生活編」								
【その他】								
課題とレポートのフィードバックを行う。 実務家教員による授業。								
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】				目安時間(時間)
1	「生活学」と③活科授業④			事前学習：	シラバスを読んでおく	4		
2	生活学における「気づき」 ①宮久保プレイパークにて（学外活動）体験活動			事後学習：	ノートを整理する。	4		
3	生活学における「気づき」 ②体験活動の振り返り			事前学習：	教科書の指定箇所を読む。	4		
4	生活学における「気づき」 ③情報を整理分析して表現活動			事後学習：	指定された課題に取り組む。	4		
5	学習対象：まち ①「まち探検」を課題設定して情報収集			事前学習：	体験を整理しておく。	4		
6	学習対象：まち ②「まち探検」情報の整理分析と表現			事後学習：	印象的な出来事を記録しておく。	4		
7	学習対象：まち ③「まち探検」新たな課題設定として情報収集			事前学習：	印象的な出来事を分析しておく。	4		
8	学習対象：人 ①課題設定			事後学習：	印象的な出来事を記録しておく。	4		
9	学習対象：人 ②情報収集と整理分析			事前学習：	情報収集したことをまとめる。	4		
10	学習対象：人 ③表現			事後学習：	課題と情報収集の整理。	4		
11	学習対象：植物（小学校と幼稚園の事例） ①課題設定			事前学習：	情報収集の分析。	4		
12	学習対象：植物（小学校と幼稚園の事例） ②情報収集と整理分析			事後学習：	指定された課題に取り組む。	4		
13	学習対象：植物（小学校と幼稚園の事例） ③表現			事前学習：	新たな情報収集したことをまとめる。	4		
14	家庭教育手帳 乳幼児編 グローバル社会と家庭教育 まとめ			事後学習：	指定された課題に取り組む。	4		
15				事前学習：	教科書の指定箇所を読む。	4		
				事後学習：	本時の学習内容を理解する。	4		
				事前学習：	教科書の指定箇所を読む。	4		
				事後学習：	本時の学習内容を理解する。	4		
				事前学習：	発表の準備をする。	4		
				事後学習：	発表した内容をまとめる。	4		
				事前学習：	教科書の指定箇所を読む。	4		
				事後学習：	本時の学習内容を理解する。	4		
				事前学習：	発表の準備をする。	4		
				事後学習：	発表した内容をまとめる。	4		
				事前学習：	教科書の指定箇所を読んでおく。	4		
				事後学習：	本時の学習内容を理解する。	4		
				事前学習：	これまでの学習を振り返る。	4		
				事後学習：	レポートを作成する。	4		

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DB0006	食生活論	塩崎 麻里子	後期	選択	講義	2	○	1

【授業のねらい及び身につく能力】

- ① 生活の基本となる食生活は人間活動のあらゆる側面と関係をもつ。健康で豊かな生活を営むためには、正しい栄養知識に基づいた適切な食習慣を身につけることの重要性を知り、実践することが大切である。本授業では、栄養の基礎知識を習得し、各ライフステージの考慮した食生活や現在の食生活の状況と問題に目を向けて、適切な食生活のある方を考える力を身につける

学修成果評価		成績評価		
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価
				評価
社会人基礎スキル	食に関する様々な情報の中から科学的根拠のある情報を精査することができる	レポート	30	5 科学的根拠に基づき情報を基に自分の見解について論じることができている 4 科学的根拠に基づき情報を参考し、問題点を挙げるができている 3 科学的根拠に基づき情報を参考にできるとどまっている 2 科学的根拠に基づいた情報の精査が不足している 1 科学的根拠のある情報を得ることができない
社会人基礎スキル	食に関する様々な情報の中から科学的根拠のある情報を精査することができる	受講態度	20	5 食に関連する様々な情報を精査したうえで文献を基に自分の意見を述べている 4 食に関連する様々な情報を収集することができ、その中から課題を見つけることができている 3 食に関連する様々な情報を収集し、精査することができる 2 食に関連する様々な情報を収集することができている 1 食に関連する様々な情報を収集することができない
思考力	科学的根拠のある情報を基に食生活に反映することができる	レポート	30	5 科学的根拠のある情報(文献)を基に自身の食生活に反映できるような課題を挙げ、改善策を論じることができている 4 文献を基に自身の食生活への課題を見つけることができている 3 様々な情報を基に自身の食生活の課題を見つけることができている 2 自身の食生活の課題を見つけることができる 1 自身の食生活の課題を見つけることができない
思考力	科学的根拠のある情報を基に食生活に反映することができる	受講態度	20	5 文献を基に自身の食生活に対する課題およびその改善策を自分の言葉で述べている 4 文献を基に自身の食生活の課題を見つけ、述べている 3 様々な情報を基に自身の食生活の課題を見つけることができている 2 自身の食生活の課題を述べている 1 自身の食生活の課題を見つけることができない

【教科書・参考書】

教科書： プリントなど随時指示をする。
参考書：

【その他】

課題や制作物等のフィードバックを行う。
遅刻3回につき、1回の欠席とする。

【授業の内容・スケジュール】		【準備学習の内容】		目安時間(時間)
1	オリエンテーション	事前学習： 食生活とは何かを調べてくる。 事後学習： 授業の進め方、注意事項を理解しておく。科学的根拠とは何かを理解しておく		4時間
2	食生活の変容	事前学習： 小学校の時の食生活を思い出してくる 事後学習： 講義内容を復習し、ワークシートを完成させる		4時間
3	食を取り巻く環境の変化	事前学習： 食環境の変化について調べてくる 事後学習： 講義内容を復習し、ワークシートを完成させる		4時間
4	食料の供給と課題	事前学習： 国内の食料自給率について調べてくる 事後学習： 講義内容を復習し、ワークシートを完成させる		4時間
5	食の安全性	事前学習： 食に関連する事件や事故を調べてくる 事後学習： 講義内容を復習し、ワークシートを完成させる		4時間
6	行事・儀礼食と食事形式	事前学習： 日本国内における年中行事について調べてくる 事後学習： 講義内容を復習し、ワークシートを完成させる		4時間
7	味の基本味	事前学習： 味覚について調べてくる 事後学習： 講義内容を復習し、ワークシートを完成させる		4時間
8	おいしさの要因	事前学習： 味覚とおいしさの違いを調べてくる 事後学習： 講義内容を復習し、ワークシートを完成させる		4時間
9	飲料水の性質	事前学習： 日本国内における飲料水の種類を調べてくる 事後学習： 講義内容を復習し、ワークシートを完成させる		4時間
10	食品表示	事前学習： 好きなお菓子や加工食品の食品表示をさがしてくる 事後学習： 講義内容を復習し、ワークシートを完成させる		4時間
11	保健機能食品	事前学習： 保健機能食品の種類を調べてくる 事後学習： 講義内容を復習し、ワークシートを完成させる		4時間
12	食事バランスガイド	事前学習： 前日の食事の内容を記録してくる 事後学習： 講義内容を復習し、ワークシートを完成させる		4時間
13	健康日本21	事前学習： 役所での健康作り活動やイベントを調べてくる 事後学習： 講義内容を復習し、ワークシートを完成させる		4時間
14	ライフステージにおける栄養	事前学習： 乳幼児期から現在までの食生活を調べてくる 事後学習： 講義内容を復習し、ワークシートを完成させる		4時間
15	まとめ	事前学習： 授業全体の内容を復習する 事後学習：		4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0080	保育内容の指導法 (情報機器の活用を含む)	伊坪有紀子	集中	選択	② 演習	2	○	2

【授業のねらい及び身につく能力】

① 保育内容について、乳幼児の心身の発達や認識・思考・動きを視野に入れて、生活や遊び体験を捉え、情報機器を活用した具体的な保育の指導案を作成し、こどもの発達に即した保育の実践を通して保育を構想する方法を身につける。複合領域での学びを生かした指導法について考え実践する力が身につく。

【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】

学修成果評価			⑦ 成績評価		
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価	
				評価	評価観点
実践力	こどもの発達をふまえた遊びの計画案を作成することができる	レポート	20	5	実現可能でこどもの興味関心をひく創意あふれる遊びの計画案を考え、保育内容の学びを生かして作成することができる
				4	こどもの興味関心をひく創意あふれる遊びの計画案を考え、保育内容の学びを生かして作成することができる
				3	実現可能な遊びの計画案を考え、保育内容の学びを生かして作成することができる
				2	現実的な遊びの計画案を考え、作成することができる
				1	遊びの計画案を作成することができる
実践力	情報機器を活用し、実践内容についてプレゼンテーションを行い、自ら課題を発見することができる	作品	20	5	情報機器を効果的に活用し、プレゼンテーションを行い計画を十分に説明できる
				4	情報機器を活用し、プレゼンテーションを行い計画を説明できる
				3	CTの活用により自己課題を見つけることができる
				2	情報機器を活用し、プレゼンテーションを行うが計画の説明が不十分である
				1	CTの活用により自己課題を見つけることができる
実践力	実際にこどもと関わり、状況に応じてこどもに寄り添うことができる	受講態度	20	5	状況に応じてこどもと関わり、こどもとの関わりの中で保育内容で学んだことを生かしよりよく行動できる
				4	状況に応じてこどもと関わり、こどもとの関わりの中で保育内容で学んだことを生かすことができる
				3	こどもと関わり、こどもとの関わりの中で保育内容で学んだことを生かし行動できる
				2	こどもと関わり、こどもとの関わりの中で保育内容で学んだことを生かしきれない
				1	こどもとの関わりが不十分である
実践力	こどもの発達と心理をふまえたおもちゃや小物を作成できる	作品	20	5	発達と安全性を考慮し、対象年齢を考慮してもらう人がよるこぶ作品を考案・作成できる
				4	発達と安全性を考慮し、こどもがよるこぶ作品を考案・作成できる
				3	発達と安全性を考慮し、対象年齢を考慮して作品を考案・作成できる
				2	対象年齢を考慮してもらう人がよるこぶ作品を考案・作成できる
				1	作品を考案・作成できているが、配慮が不十分である
向上心・責任感	実践のための役割分担を考え、実行することができる	受講態度	20	5	全体の中での自分の役割について客観的に考え、責任をもって行動することができる
				4	全体の中での自分の役割について考え、責任をもって行動することができる
				3	全体の中での自分の役割について考え、行動することができる
				2	全体の中での役割を考えるが、行動が不十分である
				1	全体での役割を考えることが不十分である

【教科書・参考書】

教科書:

参考書: 小林美実『こどものうた200』(チャイルド社)、畠山智宏『ワークシートで学ぶこどもの造形表現』(開成出版)

【その他】

課題や制作物等のフィードバックを行う。
保育士課程の必修科目、幼稚園教諭2種免許状の必修科目

【授業の内容・スケジュール】		【準備学習の内容】		目安時間(時間)
1	ガイダンス 乳幼児向けの遊びとはなにか	事前学習: シラバスを読んでおく 事後学習: ガイダンスの内容をふまえてレポートを作成する		4時間
2	遊びの意義・ねらい 実践計画作成	事前学習: 遊びのテーマを考える 事後学習: グループ間の調整を図る 授業内容をまとめる		4時間
3	遊びと指導の検討 指導案の作成	事前学習: 指導案のアイデアを考える 事後学習: 指導案の精査		4時間
4	環境づくり	事前学習: 材料・道具の準備 事後学習: 見直し		4時間
5	安全管理について	事前学習: 材料・道具の準備 事後学習: 中間発表準備		4時間
6	こどもと表現 アクティブラーニングスタジオの活用	事前学習: 中間発表準備 事後学習: 授業の振り返り 計画の見直し		4時間
7	遊びの指導	事前学習: 材料・道具の準備 練習 事後学習: 実践準備		4時間
8	遊びの実践1 模擬保育	事前学習: 準備・練習 事後学習: 実践の振り返り 分析		4時間
9	遊びの実践2 こどもとの関わり	事前学習: 準備・練習 事後学習: 実践の振り返り		4時間
10	保育者の役割	事前学習: 意義について考える 事後学習: 記録・反省		4時間
11	遊びの評価	事前学習: 記録のまとめ 事後学習: 計画作成		4時間
12	言葉とコミュニケーション (プレゼンテーション手法を学ぶ)	事前学習: 事前課題に取り組む 事後学習: 授業内容をまとめる		4時間
13	世界のこどもと遊び (情報によりつながる世界)	事前学習: 情報を収集しておく 事後学習: 情報の分析 計画を立てる		4時間
14	遊びと構想	事前学習: アイデアの検討 材料・道具の準備 事後学習: 発表準備		4時間
15	保育の中の遊び アクティブラーニングスタジオの活用	事前学習: 発表準備 事後学習: 動画による振り返り		4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
DC0041	保育内容総論	小宮 恭子	後期	選択	演習	1	○	2

【授業のねらい及び身につく能力】

① 幼稚園教育要領及び保育所保育指針における「保育目標」、「子どもの発達」、「保育の内容」を関連付けて保育内容を理解するとともに、保育内容の歴史の変遷を学び、子どもや子ども集団の発達の特性や発達過程を踏まえ、観察や記録の論点を習得し、保育の全体的な構造の各章のつながりを理解し、養護と教育が一体的に展開することを具体的な保育実践につなげて理解する。

【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】

学修成果評価			成績評価		
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比 率	ルーブリック評価	
				評価	評価観点
専門的知識・ 技術	保育の歴史と現状について学び、「教育目標や保育目標」、「子どもの発達」、「保育の内容」を関連付けて保育内容を理解する。	定期試験	50	5	目標や子どもの発達を関連付けて、保育内容を理解して説明できる。
				4	目標や子どもの発達を関連付けて、保育内容を説明できる。
				3	目標や子どもの発達を一定程度考えて保育内容を説明できる。
				2	保育内容を部分的にしか説明できない。
				1	保育内容を説明できない。
実践力	子どもの発達の特性や発達過程を踏まえ、遊びと生活についての理解を深める。	レポート	30	5	子どもの遊びと生活を自らの考えで論理的にまとめることができる。
				4	子どもの遊びと生活を論理的にまとめることができる。
				3	子どもの遊びと生活を一定程度まとめることができる。
				2	子どもの遊びと生活を最低限にしかまとめることができない。
				1	子どもの遊びと生活をまとめることができない。
向上心・責任 感	観察や記録の論点を習得し、教材や指導法を工夫して、子どもの実態を踏まえた実践を構想し、展開する。	受講態度	20	5	実習で身に付けた教材や指導法を総合的にまとめて工夫して発表できる。
				4	実習で身に付けた教材や指導法を総合的にまとめて発表できる。
				3	実習で身に付けた教材や指導法を発表できる。
				2	実習で身に付けたことを部分的にしか発表できない。
				1	実習で身に付けたことがない。

【教科書・参考書】

教科書：阿部和子・前原 寛・久富陽子・梅田優子(著)、「改訂 保育内容総論(保育の構造と実践の探求)」(萌文書林)
 参考書：文部科学省「幼稚園教育要領解説(フレール館)」、厚生労働省「保育所保育指針解説書(フレール館)」、内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレール館)」

【その他】

課題やレポート等のフィードバックを行う。
 保育士課程の必修科目。幼稚園教諭2種免許状の必修科目。実務家教員による授業。

【授業の内容・スケジュール】		【準備学習の内容】		目安時間(時間)
1	保育の基本と保育内容 幼稚園教育要領及び保育所保育指針に基づく保育の基本	事前学習：シラバスの内容を理解する。 事後学習：配付された教材に実技発表の計画を作成する。	4	4
2	保育内容の歴史の変遷① 健康と運動、人間関係と社会性	事前学習：健康と運動、人間関係と社会性に関する課題を行う。 事後学習：実技発表の計画を仕上げて提出する。実技発表者は準備を整える。	4	4
3	保育内容の歴史の変遷② 自然や環境、言葉とコミュニケーション	事前学習：自然や環境、言葉とコミュニケーションに関する課題を行う。 事後学習：実技発表者は準備を整える。	4	4
4	保育内容の歴史の変遷③ 音楽・造形的表現	事前学習：音楽・造形的表現に関する課題を行う。 事後学習：実技発表者は準備を整える。	4	4
5	保育内容と子ども理解①「絵本と出会う①」 子どもの発達の特性と保育内容	事前学習：乳幼児の発達による特性を知り、絵本の特色について調べる。 事後学習：はじめての絵本との出会いについて課題をまとめる。	4	4
6	保育内容と子ども理解②「絵本と出会う②」 保育・幼児教育現場での実際	事前学習：実習で活用した絵本について調べる。 事後学習：実技発表者は準備を整える。	4	4
7	保育内容と子ども理解③ 個と集団の発達と保育内容 実技発表①	事前学習：個と集団の発達をふまえ、子ども理解に関する課題を行う。 事後学習：実技発表の評価を提出する。実技発表者は準備を整える。	4	4
8	保育内容と子ども理解④ 保育における観察、記録 実技発表②	事前学習：保育における観察、記録と保育内容に関する課題を行う。 事後学習：実技発表の評価を提出する。実技発表者は準備を整える。	4	4
9	保育の基本を踏まえた保育内容の展開① 養護と教育が一体的に展開する保育 実技発表③	事前学習：養護と教育に関する課題を行う。 事後学習：実技発表の評価を提出する。実技発表者は準備を整える。	4	4
10	保育の基本を踏まえた保育内容の展開② 環境を通して行う保育 実技発表④	事前学習：環境に関する課題を行う。 事後学習：実技発表の評価を提出する。実技発表者は準備を整える。	4	4
11	21世紀の幼児教育に対応した新しい指導内容① 諸外国の教育(プログラミング)	事前学習：プログラミングについて課題を理解しておく。 事後学習：授業で理解したことをまとめておく。	4	4
12	21世紀の幼児教育に対応した新しい指導内容② プログラミングの実際 1	事前学習：プログラミングの具体的な手順について課題を理解しておく。 事後学習：手順の見直しや課題についてまとめておく。	4	4
13	21世紀の幼児教育に対応した新しい指導内容③ プログラミングの実際 2	事前学習：プログラミングと幼児のかかわりについて課題を理解しておく。 事後学習：気付いた課題や具体的な改善についてまとめておく。	4	4
14	保育の現状と課題① 小学校との連携をふまえた保育	事前学習：小学校との連携に関する課題を行う。 事後学習：授業で理解したことをまとめておく。	4	4
15	保育の現状と課題② 家庭、地域との連携をふまえた保育	事前学習：家庭との連携と子育て支援に関する課題を行う。 事後学習：まとめ	4	4

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
NA0016	コンピュータ基礎演習A	阿久津 毅	前期	必修	演習	1	○	1

【授業のねらい及び身につく能力】

① ICT機器を利用して学校においては学習を、社会においては業務をおこなうことは現代社会において必須である。本授業では、IT機器の基本的な操作方法・アプリケーションの使用法を学ぶとともに、マナーを習得することを図る。主にメールにおける文書作成法・マナー・メーカーの使い方、さらにインターネット社会に必要なセキュリティに関する知識を深め、安全に個人・組織の活動を安全に行う実践力を養う。またワードによる文書作成、特殊印刷、セキュリティに配慮した文書の保存方法などを中心に体験してもらうことによって、自ら応用していく力を身に着ける。

【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】

学修成果評価			成績評価		
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価	
				評価	評価観点
社会人基礎スキル	社会人のマナーやルールを理解してICT利用におけるメールの利用を行うことができる。	作品	15	5	必要最小限のマナーを理解したうえで、的確な情報を見やすく伝えるメールを出せる。
				4	必要最小限のマナーを理解したうえで、的確に情報を伝えるメールを出せる。
				3	必要最小限のマナーを理解したうえで、メールの利用ができる。
				2	メールを利用することができる。
				1	メールを利用することができない。
実践力	インターネットセキュリティに関する知識を身に着ける。	作品	40	5	授業で行われる小テストで90%以上をクリア。
				4	授業で行われる小テストを80%以上のクリア。
				3	授業で行われる小テストを70%以上のクリア。
				2	授業で行われる小テストを60%以上のクリア。
				1	授業で行われる小テストを59%以下のクリア。
向上心・責任感	ICT機器を利用したドキュメントを作成できる。	作品	45	5	授業で出される課題の90%以上の提出である。
				4	授業で出される課題の80%以上の提出である。
				3	授業で出される課題の70%以上の提出である。
				2	授業で出される課題の60%以上の提出である。
				1	授業で出される課題の59%以下の提出である。

【教科書・参考書】

教科書： 利用せず
参考書： PC室のLANやインターネットを利用して練習問題などを配布。授業内の実演の撮影は許可する。

【その他】

課題や制作物等のフィードバックとして、課題・制作物の提出の次の授業の時に模範解答実演などを行う。
中学校教諭2種免許状(家庭)の選択必修科目

【授業の内容・スケジュール】		【準備学習の内容】		目安時間(時間)
1	オリエンテーション 情報機器の扱い方 課題あり 「コンピュータと社会～第4次産業革命(Society 5.0、データ駆動型社会、AI、IoT)～」	事前学習： 高等学校の「情報」の教科書を読み返しておく	事後学習： 第1回の演習内容の復習	1時間
2	メーカーの利用方法 課題あり	事前学習： 第1回の演習内容の復習	事後学習： 第2回の演習内容の復習	1時間
3	メール文書の作成法 課題あり	事前学習： 第2回の演習内容の復習	事後学習： 第3回の演習内容の復習	1時間
4	セキュリティ(組織編) 小テストあり	事前学習： 第3回の演習内容の復習	事後学習： 第4回の演習内容の復習	1時間
5	セキュリティ(個人編) 小テストあり	事前学習： 第4回の演習内容の復習	事後学習： 第5回の演習内容の復習	1時間
6	コンピュータセキュリティ(スマートホン) 課題あり	事前学習： 第5回の演習内容の復習	事後学習： 第6回の演習内容の復習	1時間
7	著作権とSNS 課題あり	事前学習： 第5,6回の演習内容の復習	事後学習： 第7回の演習内容の復習	1時間
8	コンピュータの基礎 課題あり	事前学習： 第5,6,7回の演習内容の復習	事後学習： 第8回の演習内容の復習	1時間
9	ワードビジネス文書 課題あり	事前学習： 第8回の演習課題の復習	事後学習： 第9回の内容を確認する	1時間
10	ワード:アンケート文書 課題あり	事前学習： 第8,9回までの内容を確認する	事後学習： 第10回の内容を確認する	1時間
11	ワード:スタイルを利用した文書① 課題あり	事前学習： 第8,9,10回までの内容を確認する	事後学習： 第11回の演習内容の復習	1時間
12	ワード:スタイルを利用した文書② 課題あり	事前学習： 第11回の演習内容の復習	事後学習： 第12回の演習内容の復習	1時間
13	ワード:差し込みなど特殊印刷① 課題あり	事前学習： 第11,12回の演習内容の復習	事後学習： 第11,12,13回の演習内容の復習	1時間
14	ワード:差し込みなど特殊印刷② 課題あり	事前学習： 第1～13回の演習内容の復習	事後学習： 第14回の演習内容の復習	1時間
15	まとめ 提出あり	事前学習： 第1～14回の演習内容の復習	事後学習： 授業内全課題の確認	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
NA0017	コンピュータ基礎演習B	阿久津 毅	後期	必修	演習	1	○	1

【授業のねらい及び身につく能力】

① I T 機器を利用して学校においては学習を、社会においては業務をおこなうことは現代社会において必須である。本授業では、I T 機器の基本的な操作方法・アプリケーションの使用法を学ぶとともに、社会人として必要なスキルを習得することを図る。また、エクセルの一般的な四則演算や関数を利用して代表値の計算、偏差などのデータ処理を行い、度数分布表作成し、ヒストグラムなどのグラフ化するなどアンケート調査の報告を例題にビジュアル的な要素を含めてドキュメントを作成する能力を養う。

【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】

学修成果評価			成績評価		
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	⑦ ルーブリック評価	
				評価	評価観点
社会人基礎スキル	社会人のマナーやルールを理解して I C T 利用におけるメールの利用を行うことができる。	作品	15	5	必要最小限のマナーを理解したうえで、的確な情報を見やすく伝えるドキュメントを作成できる。
				4	必要最小限のマナーを理解したうえで、的確に情報を伝えるドキュメントを作成することができる。
				3	必要最小限のマナーを理解したうえで、ドキュメントを作成することができる。
				2	ドキュメントを作成することができる。
				1	ドキュメントを作成することができない。
実践力	アプリの機能を利用して、データの処理やグラフを作成することができる。	確認テスト	40	5	ドキュメント内の課題を90%以上のクリア。
				4	ドキュメント内の課題を80%以上のクリア。
				3	ドキュメント内の課題を70%以上のクリア。
				2	ドキュメント内の課題を60%以上のクリア。
				1	ドキュメント内の課題を59%以下のクリア。
向上心・責任感	I C T 機器を使ったドキュメントを適切な技術を用いて作成することができる。	作品	45	5	授業で出される課題の90%以上の提出である。
				4	授業で出される課題の80%以上の提出である。
				3	授業で出される課題の70%以上の提出である。
				2	授業で出される課題の60%以上の提出である。
				1	授業で出される課題の59%以下の提出である。

【教科書・参考書】
 教科書： 利用せず
 参考書： P C 室の L A N などを利用して練習問題などを配布。授業内の実演は撮影は許可する。

【その他】
 課題や制作物等のフィードバックとして、課題・制作物の提出の次の授業の時に模範解答実演などを行う。
 中学校教諭2種免許状(家庭)の選択必修科目

【授業の内容・スケジュール】		【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1	エクセルの基本 ③ ④ 課題あり	事前学習： 高等学校の「情報」の教科書を読み返しておく 事後学習： 第1回の演習内容の復習	1時間
2	エクセルの基本の書式 課題あり	事前学習： 第1回の演習内容の復習 事後学習： 第2回の演習内容の復習	1時間
3	エクセルの四則演算 課題あり	事前学習： 第2回の演習内容の復習 事後学習： 第3回の演習内容の復習	1時間
4	エクセルの関数利用 LEVEL1 課題あり	事前学習： 第3回の演習内容の復習 事後学習： 第4回の演習内容の復習	1時間
5	エクセルの関数利用 LEVEL2 範囲指定 課題あり	事前学習： 第4回の演習内容の復習 事後学習： 第5回の演習内容の復習	1時間
6	エクセルの関数利用 LEVEL4 条件付き 課題あり	事前学習： 第5回の演習内容の復習 事後学習： 第6回の演習内容の復習	1時間
7	エクセルの関数利用 LEVEL5 複数条件付き 課題あり	事前学習： 第4, 5, 6回の演習内容の復習 事後学習： 第7回の演習内容の復習	1時間
8	エクセル 条件付き書式 課題あり	事前学習： 前回までの演習内容の復習 事後学習： 第8回の演習内容の復習	1時間
9	エクセル 大量データの扱い ① 課題あり	事前学習： 第8回の演習課題の復習 事後学習： 第9回の内容を確認する	1時間
10	エクセル 大量データの扱い ② 課題あり	事前学習： 第9回までの内容を確認する 事後学習： 第10回の内容を確認する	1時間
11	エクセル グラフ作成 ① 課題あり	事前学習： 第9, 10回までの内容を確認する 事後学習： 第11回の演習内容の復習	1時間
12	エクセル グラフ作成 ② 課題あり	事前学習： 第11回の演習内容の復習 事後学習： 第12回の演習内容の復習	1時間
13	エクセル グラフ作成 ③ 課題あり	事前学習： 第11, 12回の演習内容の復習 事後学習： 第11, 12, 13回の演習内容の復習	1時間
14	エクセルのセキュリティ 課題あり	事前学習： 第1~13回の演習内容の復習 事後学習： 第14回の演習内容の復習	1時間
15	まとめ 課題あり	事前学習： 第1~14回の演習内容の復習 事後学習： 授業内全課題の確認	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0023	栄養教育論	高橋 律子	前期	選択	講義	2	○	1
〔授業のねらい及び身につく能力〕 ① 人々が生涯にわたり健康を維持・増進するために栄養教育が求められている。栄養教育の概念、歴史、栄養教育の理論、実施のための方法・技術、栄養教育の法的根拠になる関連法規について学ぶ。栄養カウンセリングの特徴を知る。健康の維持増進や生活の質の向上に向けた望ましい食習慣形成のために必要な確実な行動変容に結び付けるための理論・モデル・概念を理解する。								
〔学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法〕								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	栄養教育の概念、歴史、栄養教育の理論、実施のための方法・技術、栄養教育の法的根拠になる関連法規、行動変容に結び付けるための理	定期試験	60	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
思考力	栄養状態の改善と食行動変容のかかわりについて考える	レポート	40	5	課題に対し、論理的整合性を持ち、多角的に考察をしている			
				4	課題に対し、ほぼ論理的整合性を持った考察を加えている			
				3	課題に対し、自分の考えを述べることができる			
				2	課題に対する結果を述べるができる			
				1	形式が整っていない			
〔教科書・参考書〕 教科書： 土江節子編著『食物と栄養学基礎シリーズ9 栄養教育論』(第6版) (学文社) 参考書： 随時紹介する								
〔その他〕 課題や制作物等のフィードバックを行う。 栄養士過程の必修科目								
〔授業の内容・スケジュール〕				〔準備学習の内容〕				目安時間(時間)
1	栄養教育の概念			事前学習： 教科書を読んでおく 事後学習： 配布資料や学習内容を整理してノートにまとめておく				3時間
2	栄養教育の沿革および栄養関連法案① 栄養士法、健康増進法・国民健康栄養調査			事前学習： 教科書を読んでおく 事後学習： 配布資料や学習内容を整理してノートにまとめておく				4時間
3	栄養教育の沿革および栄養関連法案② 食育基本法、食事バランスガイド、食事摂取基準			事前学習： 教科書を読んでおく 事後学習： 配布資料や学習内容を整理してノートにまとめておく				4時間
4	栄養教育の沿革および栄養関連法案③ 特定健診・特定保健指導、健康日本21(第2次)、食品表示法			事前学習： 教科書を読んでおく 事後学習： 配布資料や学習内容を整理してノートにまとめておく				4時間
5	栄養教育のための理論的基礎			事前学習： 教科書を読んでおく 事後学習： 配布資料や学習内容を整理してノートにまとめておく				4時間
6	カウンセリング理論			事前学習： 教科書を読んでおく 事後学習： 今までの復習をしておく				4時間
7	栄養教育と情報の収集・処理 確認テスト①			事前学習： 教科書を読んでおく 事後学習： 配布資料や学習内容を整理してノートにまとめておく				4時間
8	栄養教育マネジメント			事前学習： 教科書を読んでおく 事後学習： 配布資料や学習内容を整理してノートにまとめておく				4時間
9	食生活・栄養に関する諸調査			事前学習： 教科書を読んでおく 事後学習： 配布資料や学習内容を整理してノートにまとめておく				4時間
10	栄養教育方法 集団指導・個人指導			事前学習： 教科書を読んでおく 事後学習： 配布資料や学習内容を整理してノートにまとめておく				4時間
11	栄養教育の教材・媒体			事前学習： 教科書を読んでおく 事後学習： 配布資料や学習内容を整理してノートにまとめておく				4時間
12	栄養教育の評価			事前学習： 教科書を読んでおく 事後学習： 配布資料や学習内容を整理してノートにまとめておく				4時間
13	食生活指針・運動指針・睡眠指針・休養指針			事前学習： 教科書を読んでおく 事後学習： 配布資料や学習内容を整理してノートにまとめておく				4時間
14	栄養教育の国際的動向 確認テスト②			事前学習： 全体の総復習をする 事後学習： 全体の総復習をする				4時間
15	まとめ			事前学習： 全体の総復習をする 事後学習： 全体の総復習をする				5時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0025	公衆栄養学概論	田邊 明子	後期	選択必修	講義	2	○	2

【授業のねらい及び身につく能力】

① 人が社会生活を送るにあたり、健康増進、生活の質の向上を図ることは重要である。これらを達成するためには集団・地域における健康・栄養問題、食料の現状と課題を知り、その解決のための活動計画・実施・評価手法等を理解する。

【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】

学修成果評価			成績評価		
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価	
				評価 評価観点	
専門的知識・ 技術	わが国の健康・栄養政策や関係法規及び諸外国の健康・栄養政策を理解する。	定期試験	60	5	わが国や諸外国における健康・栄養課題を知り、それに応じた健康・栄養政策や公衆栄養活動、関係法規を理解している。
				4	わが国や諸外国における健康・栄養課題を知り、それに応じた健康・栄養政策を理解している。
				3	わが国や諸外国における健康・栄養課題の理解にとどまっている。
				2	わが国や諸外国における健康・栄養課題の理解が不足している。
				1	全く理解できていない。
専門的知識・ 技術	わが国の健康・栄養政策や関係法規及び諸外国の健康・栄養政策を理解する。	確認テスト	20	5	確認テスト4回の結果、90%以上理解している。
				4	確認テスト4回の結果、80%以上理解している。
				3	確認テスト4回の結果、60%以上理解している。
				2	確認テスト4回の結果、60%未満の理解にとどまっている。
				1	確認テスト4回の結果、30%以下の理解にとどまっている。
思考力	公衆栄養マネジメントの基本的考え方を説明できる。	レポート	20	5	公衆栄養活動計画・実施・評価手法を活用して、理論的に考察できている。
				4	公衆栄養活動計画・実施・評価手法を活用して、論理的に組み立てられている。
				3	現状把握が不足している。
				2	公衆栄養活動計画・実施・評価手法の考え方が不足している。
				1	基本的な考え方が説明できていない。

【教科書・参考書】

教科書： エスカパーシク 公衆栄養学概論 最新版(編著者 古畑 公 田中 弘之)(同文書院)
参考書： 日本人の食事摂取基準 2020年版(第一出版)ほか適宜紹介する。

【その他】

課題等のフィードバックを行う。栄養士課程の必修科目

【授業の内容・スケジュール】		【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1	公衆栄養学の概念③①) ④	事前学習： 教科書のまえがきと目次を読む。 事後学習： わが国の公衆栄養活動の主な歴史を知る。	4時間
2	公衆栄養学の概念(2)	事前学習： 公衆栄養活動の概要を知る。 事後学習： 教科書15ページの演習問題を行い、自己の理解度を確認する。	4時間
3	わが国の健康・栄養問題の現状と課題(1)	事前学習： 国民の健康状態の現状と課題を調べる。 事後学習： 医療統計から国民の健康状態の変遷を知る。	4時間
4	わが国の健康・栄養問題の現状と課題(2)	事前学習： 人口動態統計等を見る。 事後学習： 少子高齢社会における健康・栄養問題を理解する。	4時間
5	わが国の健康・栄養問題の現状と課題(3)	事前学習： 国民健康・栄養調査の目的を調べる。 事後学習： 国民健康・栄養調査結果から栄養・食生活の現状と課題を理解する。	4時間
6	わが国の健康・栄養問題の現状と課題(4)	事前学習： 公衆栄養マネジメントの概念を知る。 事後学習： 公衆栄養プログラムの流れを理解する。	4時間
7	栄養疫学(1)	事前学習： 教科書75～92ページを読む。 事後学習： 公衆栄養活動と行政栄養士の業務を知る。	4時間
8	栄養疫学(2)	事前学習： 教科書95～107ページを読む。 事後学習： 公衆栄養活動における栄養疫学の重要性を理解する。	4時間
9	公衆栄養マネジメント(1)	事前学習： 教科書に記載されている食事調査法を書き出す。 事後学習： 各種食事調査法の特徴を理解する。	4時間
10	公衆栄養マネジメント(2)	事前学習： 教科書109～118ページを読む。 事後学習： 公衆栄養活動と関連行政・法律を知る。	4時間
11	わが国の栄養・食料政策(1)	事前学習： 教科書118～126ページを読む。 事後学習： 健康づくり施策の変遷を理解する。	4時間
12	わが国の栄養・食料政策(2)	事前学習： 教科書126～135ページを読む。 事後学習： 栄養・健康指導のガイドラインを理解する。	4時間
13	わが国の栄養・食料政策(3)	事前学習： 教科書137～161ページを読む。 事後学習： 世界の健康・栄養問題と特性を踏まえて栄養政策を理解する。	4時間
14	諸外国の健康・栄養政策	事前学習： 教科書163～170ページを読む。 事後学習： 食事摂取基準の各指標を理解する。	4時間
15	日本人の食事摂取基準	事前学習： 教科書170～180ページを読む。 事後学習： 食事摂取基準の活用とPDCAサイクルを理解する。	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
NC0053	ICT概論	阿久津 毅	後期	選択	講義	2	○	2

【授業のねらい及び身につく能力】

① 現代社会においては、フィンテックに代表されるようにICT技術が各分野で活用されている。本授業では、人工知能やロボティクスなど各分野で利用されている事例を紹介しながら授業を進めていく。とりわけ、健康や福祉に係わる分野を多くとりあげる。またニュースなどで取り上げられている事例も適宜取り上げていく。そのうえで、事例の理解に必要なアルゴリズムなどプログラムに関する基礎知識、セキュリティに関する最新情報を学び、今後の社会生活に必要な社会人としての思考力を養っていくことを目的とする。また、授業にはICT機器を利用した参加型授業を行うことがある。

【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】

学修成果評価		成績評価			
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価	
				評価	評価観点
社会人基礎スキル	ICT社会で必要な基礎知識を身につけ自分の意見を論じることが出来る。	レポート	40	5	自分の意見を論理的に正しい文章表現にて表現することが出来る。
				4	自分の意見を論理的または正しい文章表現にて表現することが出来る。
				3	自分の意見を表現することが出来る。
				2	自分の意見を表現することが出来ない。
				1	自分の意見をもたない。
向上心・責任感	メディアを活用し、最新の情報を取得し、授業内容を深めることが出来る。	受講態度	60	5	授業の内容を理解し、新たな情報を加え情報を持つことが出来る。
				4	授業の内容を理解し、情報を持つことが出来る。
				3	授業以外の情報を自ら積極的に持つことが出来る。
				2	授業以外の情報を持つことが出来る。
				1	情報をもたない。

【教科書・参考書】

教科書： 利用せず
参考書： 授業内のパワポ資料などを自由にダウンロード可

【その他】
授業内容について、office365を利用したformなどによる意見・感想を出してもらい、そのデータをもとに、次回授業においてフィードバックを行う。

【授業の内容・スケジュール】		【準備学習の内容】		目安時間(時間)
1	インターネット通信について	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
2	IOT (1)	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
3	IOT (2)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
4	AIでなくなる仕事、残る仕事 (1)	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
5	AIでなくなる仕事、残る仕事 (2)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
6	AIでなくなる仕事、残る仕事 (3)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
7	AIでなくなる仕事、残る仕事 (4)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
8	AIでなくなる仕事、残る仕事 (5)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
9	ロボットとは (1)	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
10	ロボットとは (2)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
11	ICTを支えるプログラミング思考 アルゴリズムの基礎 (1)	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
12	ICTを支えるプログラミング思考 アルゴリズムの基礎 (2)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
13	ICTを支えるプログラミング思考 アルゴリズムの基礎 (3)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
14	コンピュータセキュリティ	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める		4時間
15	まとめ	事前学習： 14回までの授業の復習 事後学習： まとめの内容を確認する		4時間